



吉高ニュース

平成26年11月号

岐阜県立吉城高等学校渉外部

11月の様子 ～校訓「行学一致」「自主・創造」「心身の錬磨」～

10/29～11/1 沖縄修学旅行

2年生は、楽しみにしていた沖縄修学旅行に行ってきました。初日は那覇市に到着し、国際通りを班別研修した後、戦争体験講話を聞きました。二日目は平和研修（ガンマ体験、ひめゆりの塔）の後、名護市でマリンスポーツを体験しました。三日目は美ら海水族館などを見学し、恩納村の沖縄体験ニライカナイで沖縄の伝統文化などを学びました。最終日は首里城を見学し、帰路につきました。好天に恵まれた素晴らしい修学旅行でした。



ガンマでは懐中電灯を消して暗闇体験をしました。本当に真っ暗で、しずくが垂れる音しか聞こえず、戦争中にこんな暗いところにあたかと思うと、胸が痛く苦しくなりました。

11/7 創立記念式典・記念講演

11月1日、吉城高校は66回目の創立記念日を迎えました。そこで、映像作家として世界的にご活躍の泉原昭人さんをお招きし、「私の歩んだ道、高校生に伝えたいこと」という演題で、ご講演いただきました。その中で、ベルリン国際映画祭で招待上映された作品「赤い森の歌」ほか、いくつかの作品を見せていただきました。映像化された美術という新しい芸術を体感でき、素晴らしい講演会となりました。



「目標があれば、スキルは後でついてくる」というお言葉は印象的でした。「久しぶりに訪れた母校は懐かしく、自分のスタートとしての学び舎に感激ひとしおでした」とのことでした。

11/11 育友会「進路フォーラム」

今年の春や過去に本校を卒業した生徒の保護者と、直接地元就職した卒業生や、大学・専門学校を卒業して現在地元で就職している卒業生をパネリストに招いて、進路フォーラムを開きました。本校育友会の進路部会が主催する行事で、今回で15回目を数えます。受験生の親、また、新社会人の立場から進路決定までの苦労話などをお話いただきました。



進学に成功した人ばかりでなく、浪人した経験のあるお父さんがみえていて、現実的なフォーラムでした。今後、自分の目指す道へ進んで頑張ってくれるよう、見守っていききたいと思います。

11/17 第22回「現代フォーラム」

「新聞に未来はあるか」をテーマに、図書委員会主催の公開討論会を開催しました。若者の新聞離れの背景や、新聞をとりまくメディアのあり方の変化について、6名のパネリストが、それぞれの立場から意見を発表しました。国語科と地歴公民科の職員のコメントも交え、参加者も熱心に意見を聞いていました。



パネリストのみなさんです。三本木ひなた(1D) 柚原明妃(1D) 井之上愛香(2D) 小島朝子(2D) 森慎之佑(3A) 宮沢将宏(3C)

先月末、2年生の修学旅行中に1, 3年生の遠足がありました。

<10/31 金沢遠足・上高地遠足>

1年生は、金沢へ遠足に行ってきました。午前中は金沢大学を見学しました。本校を卒業した学生の話聞いて、進路意識を高めることができました。午後からは金沢市内で班別研修を行いました。

3年生は上高地中部山岳国立公園に行ってきました。河童橋から明神池まで散策し日本を代表する大自然を満喫しました。天気は曇りでしたが、友達と川のせせらぎを聞きながら食べたお弁当は最高でした。



地元近くに美しい自然があることを知り感動しました。そして、この美しい自然は当たり前ではなく、私たち人間がいつまでも守り続けなければならぬことを再確認しました。



11月11日：芸術鑑賞「落語鑑賞会」の様子

場所：スピリットガーデンホール

入船亭遊一：落語
入船亭扇里：落語真打
鏡味仙志郎：色物（太神楽曲芸）
春風亭柳朝：落語真打



久しぶりに落語を聞きました。小学校の頃も一度聞かせてもらったことを思い出しました。その頃はただ面白い話というだけでしたが、今回改めて聞かせて頂くとその技術に感心しました。

扇子と手ぬぐいしか持っていないのに、タバコや薬だとしっかり伝わりました。何かを食べる時のしぐさや音、男の人と女の人の違いの演じ方、そして、何よりも表情がとても豊かで、すごいと思いました。

あんなに長い話なのに、次から次へとスラスラ流れるように話されていたのも職人芸だと感心しました。

【地学部】 全日本学生科学賞 入選一等！

「古川国府盆地における伏在活断層の研究～周囲の共役断層との関係を探る～」